

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成23年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
異常土砂流出時に立入が困難な区域における迅速な緊急調査・危険度評価に関する調査研究(研究期間:H23年~H25年)	北海道大学 准教授 笠井 美青	B
<p>&lt;研究概要&gt; 本研究では無人ヘリコプターに、詳細な測量が可能なLP(レーザープロファイラ)や、悪天候でも画像の取得が可能なSAR(合成開口レーダー)を搭載し、地すべり地にて計測を行った。計測データの特徴を整理し、解析方法の提示を行うとともに、無人ヘリコプター計測の際の課題についてもまとめた。その上で、無人ヘリコプター計測による現地状況把握と斜面の危険度評価の仕方について、平時、有事、有事後のそれぞれについて作業要領案を示した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt; 本研究では、異常土砂流出時に立入が困難な区域における迅速な緊急調査、危険度評価に関する手法として、UAV搭載型のLPを用いた危険箇所抽出の調査・解析手法を提示しており、UAVを活用した発生危険箇所把握手法として期待できるものである。 今回、技術的な点は概ね実証されたが、運用面で課題が残されている。今後は、本研究成果を基に、緊急時におけるUAVを活用した危険箇所把握手法の実用化に向けて、検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い